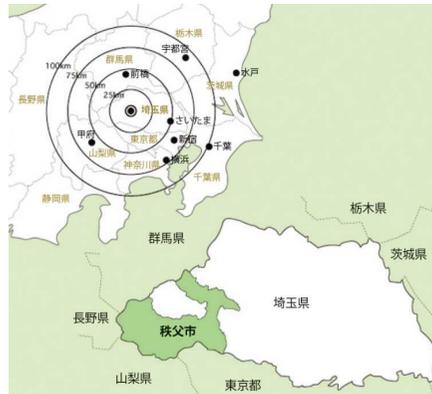
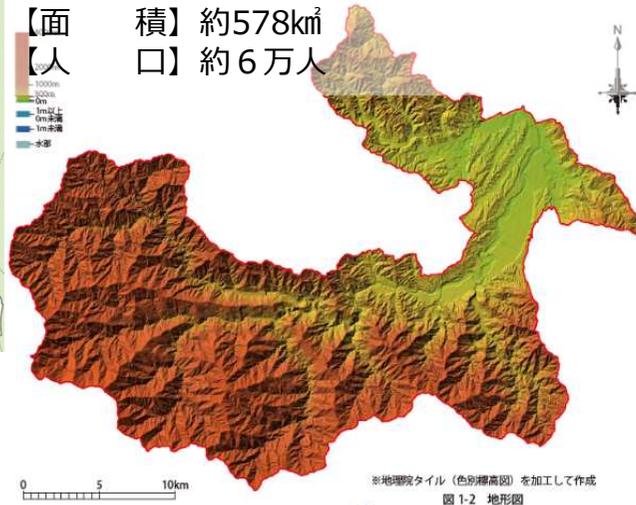


## 02 秩父市文化財保存活用地域計画【埼玉県】



【計画期間】 令和3～12年度（10年間）  
 【面積】 約578km<sup>2</sup>  
 【人口】 約6万人



※地理院タイル（色別標高図）を加工して作成  
 図 1-2 地形図

### 文化財の概要・特徴

国・県・市指定等文化財は計288件。ほかにも、ふるさと文化財の森の設定地2件、ユネスコ無形文化遺産1件（「秩父祭の屋台行事と神楽」を含む『山・鉾・屋台行事』（33件）の登録）など、多種多様な文化財が存在。

種別	国指定等文化財		県指定等文化財		市指定等文化財		合計	割合 (%)	
	種類	件数	種類	件数	種類	件数			
有形文化財	重要文化財	建造物	1	建造物	4	建造物	17	22	8
		絵画	0	絵画	1	絵画	5	6	2
		彫刻	0	彫刻	2	彫刻	13	15	5
		工芸品	0	工芸品	3	工芸品	14	17	6
		古文書・書跡・典籍	0	古文書・書跡・典籍	3	古文書・書跡・典籍	12	15	5
		考古資料	0	考古資料	1	考古資料	0	1	1
		歴史資料	0	歴史資料	2	歴史資料	1	3	1
	計	1	計	16	計	62	79	28	
	登録有形文化財（建造物）	31					31	11	
	計	31					31	11	
	小計	32	小計	16	小計	62	110	39	
無形文化財	重要無形文化財	0	無形文化財	0	無形文化財	0	0	0	
	小計	0	小計	0	小計	0	0	0	
民俗文化財	重要有形民俗文化財	1	有形民俗文化財	4	有形民俗文化財	28	33	11	
	重要無形民俗文化財	2	無形民俗文化財	8	無形民俗文化財	35	45	16	
	選択無形民俗文化財*	3	選択無形民俗文化財*	2			5	2	
	小計	6	小計	14	小計	63	83	29	
記念物	史跡	1	史跡	6	史跡	46	53	18	
	名勝	0	名勝	1	名勝	2	3	1	
	天然記念物	1	天然記念物	10	天然記念物	22	33	11	
			旧跡	6			6	2	
	小計	2	小計	23	小計	70	95	32	
総計		40		53		195	288	100	

\*「選択無形民俗文化財」とは「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」を表す。

● 指定等文化財は、  
288件  
 ● 未指定文化財は、  
436件把握

分類／種別		件数
有形文化財	建造物	123
民俗文化財	無形の民俗文化財	101
記念物	遺跡	5
	植物（植物群落含む）	172
	地質鉱物	35
総計		436

### 歴史文化の特徴

1. 秩父盆地ができるまで
2. 「山国」秩父
3. 荒川水系と河成段丘
4. 特徴的な遺跡群
5. 道と人々の交流
6. 土地に根付いた産業の歴史  
～材木・鉱物・生糸・織物・セメント～
7. 多様な祭り・伝統行事・信仰

### 推進体制

#### ● 秩父市

教育委員会事務局文化財保護課、市立各小・中学校、市長室地域政策課、総務部危機管理課、環境部森づくり課、市民部生涯学習課・公民館、産業観光部観光課、地域整備部都市計画課・各道路関係課、吉田総合支所地域振興課、大滝総合支所地域振興課、荒川総合支所地域振興課 等

#### ● 関係機関

各市内資料館・秩父図書館・秩父まつり会館・ちちぶ銘仙館・龍勢会館・秩父事件資料館・石間交流学习館・秩父市文化財保護審議委員会・秩父市文化財調査会 等

#### ● 埼玉県や域外の関係機関

埼玉県教育局市町村支援部文化資源課・各県立博物館・秩父警察署・小鹿野警察署、秩父消防本部・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・秩父地区文化財保護協会 等

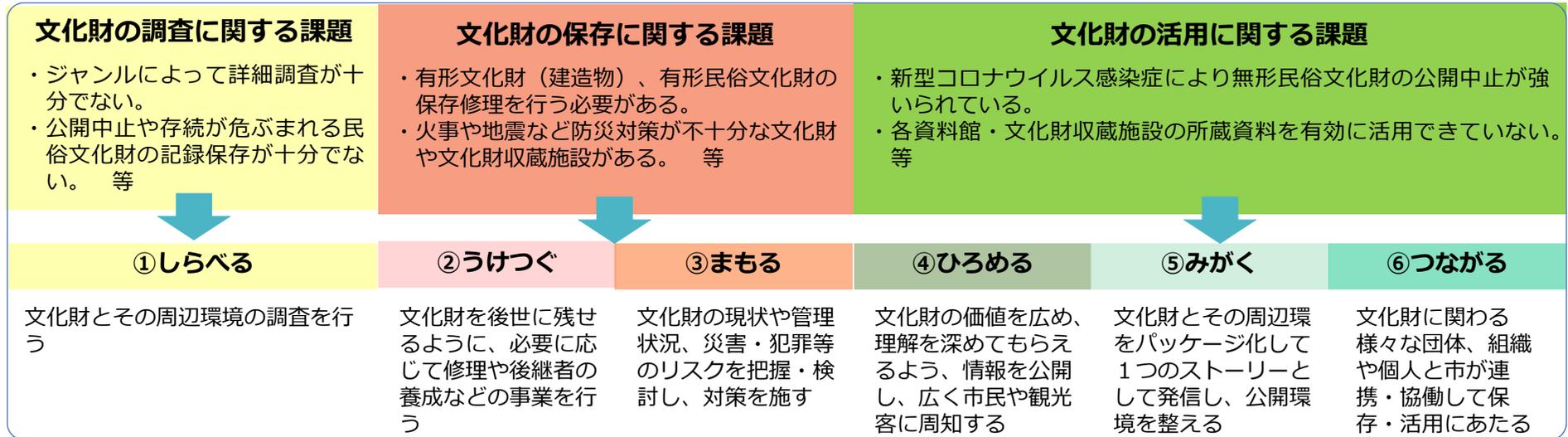
#### ● その他民間団体等

一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社、一般社団法人秩父観光協会、NPO法人秩父まるごと博物館、文化財保存団体（祭り、民俗芸能、史跡、天然記念物等）、各研究団体・各町内会・青少年育成会・こども会 等

# 将来像

文化財の次世代への継承、文化財を通じた地域コミュニティの形成、新たな文化財の発見  
秩父市の魅力向上、歴史・文化・自然を活かしたまちづくり、観光客の誘引

## 文化財の保存・活用に関する課題 及び 基本的な方向性



## 文化財の保存・活用に関する措置の例

<h3>民俗文化財調査事業</h3> <p>中止・消滅の危機に瀕している民俗文化財について、優先順位を検討した上で、順次、記録保存の措置を講じるとともに、公開資料としての有効活用を図る。</p>  <p>フセギ行事（福田のフセギ）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 取組主体: 市、秩父市文化財保護審議委員会</li><li>■ 計画期間: R3～12年度</li></ul>	<h3>文化財保存修理事業</h3> <p>市指定有形文化財（建造物）「旧大宮学校校舎」や「内田家住宅」、国登録有形文化財（建造物）「旧秩父駅舎」等の保存修理を実施する。</p>  <p>旧大宮学校校舎</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 取組主体: 市、地域住民、関連団体</li><li>■ 計画期間: R3～12年度</li></ul>	<h3>「秩父市デジタルミュージアム（仮）」事業</h3> <p>秩父市の指定文化財や各資料館で所有している資料等のデジタルデータ化を行い、デジタルミュージアムサイトを作成して公開・活用する。</p>  <p>デジタルミュージアムのイメージ図</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 取組主体: 市、秩父市文化財保護審議委員会</li><li>■ 計画期間: R3～7年度</li></ul>
--	---	---

## 文化財の一体的・総合的な保存・活用



### 歴史文化の特徴に基づき、 10の関連文化財群を設定

#### 1-1 秩父盆地に眠る太古の海（古秩父湾）の物語

今から約1700万年～1500万年前の新生代期は、秩父市は海でした。「古秩父湾」と呼ばれる海に関する文化財をまとめた。



#### 5-1 「秩父往還」に残る歴史の足跡

秩父市は古くから人々の往来が盛んでした。ここではそうした往来をつなぐ「道」の中でも「秩父往還」を中心に様々な文化財を1つにまとめた。



#### 2-1 「山国」の暮らし

秩父山系の山々に囲まれた環境の下で、人々は古くからその環境に順応し、生活を営んできました。その暮らしの様子をまとめた。



#### 6-1 秩父の「絹」文化

秩父の人々の生活は古くから絹と密接な関係にあり、長きに亘って秩父の基幹産業を支えました。そうした絹に関わる歴史の流れを一体的に捉え、1つにまとめた。



#### 3-1 山と段丘が織りなす水の恵み

「水」をテーマに、特に武甲山にまつわる水の伝承と秩父市域に見られる「湧水」に関する文化財をまとめた。



#### 6-2 武甲山の石灰石採掘史

武甲山の「石灰岩質」という特性により、近世末期以降に発展した産業の歴史とそれに伴う近現代の秩父をテーマに、様々な文化財をまとめた。



#### 4-1 2つの「和銅」

秩父市の遺跡の中でも代表的な存在として名高い「和銅遺跡」は、古代と近世の2つの時代に分けられます。ここでは「和銅」にまつわる様々な文化財を1つにまとめました。



#### 7-1 小集落の、小さな祭りと行事

秩父の各地に数多く残る祭りや伝統行事の中でも、集落単位で続けられている祭りや伝統行事を1つのテーマとしてまとめました。



#### 4-2 群集する古墳

秩父市の遺跡の特徴の1つとして、各地に「古墳群」が点在していることが挙げられます。ここではそうした「古墳群」に焦点を当てて、1つにまとめました。



#### 7-2 笠鉾・屋台文化

秩父祭をはじめとして、秩父各地で曳行されている笠鉾・屋台とその行事について1つのテーマとしてまとめました。



## 関連文化財群 2つの「和銅」

黒谷地区には、国内初の自然銅が発見されたという伝承がある地点を中心とした「和銅遺跡」があり、近年はそうした逸話もあって「金運向上」のためのスポットとして、多くの観光客が訪れている。

「和銅遺跡」は時代によって異なる2つの遺跡群に大別することができる。

1つは、先述した慶雲5年(708)に国内初の自然銅が発見されたとされる和銅沢を中心とした遺跡群である。この発見によって、全国的には元号が「慶雲」から「和銅」に変更されたことやこの後に鑄造された通貨が「和同開珎」となったことが有名であるが、黒谷地区では「金山彦命」を祭神とし、遺跡地の北側に位置する聖神社がこの発見を機に建立されたといわれている。この聖神社には、遺跡地から発見されたと伝えられる自然銅の他、この発見を称えて当時の天皇である元明天皇から下賜されたと伝わる銅製のムカデ1対が、宝物庫に奉納されている。

もう1つは、江戸時代を中心に、自然銅発見伝承の地から南に位置する金山で展開された銅採掘の遺跡である。金山には今も、銅を採掘した複数の横坑の他に掘り出した銅を製錬した場所が残っている。

また、周辺地域には銅にまつわる地名や銅採鋳に係る出納役を担った地域の名主である内田氏の住宅も残っており、古代とは異なり産業的・商業的に銅採鋳が行われていたことをうかがい知ることができる。



市指定有形文化財(建造物)  
「内田家住宅」



図7-4 関連文化財群4-1 構成文化財分布図

### 【課題】

- 古代の「和銅遺跡」の公開環境(特に遊歩道)に危険箇所があり、安全性が低い。
- 近世・近代期の「和銅遺跡」に係る文化財の整備が、保存・活用両面で十分でない。
- 近世・近代期の「和銅遺跡」の核となり得る文化財について、倒壊の危険性が高くなっている。

### 【方針】

- 安全な見学環境を整備する。
- 近世・近代期の「和銅遺跡」の一体的なPRを行う。
- 近世・近代期の「和銅遺跡」の拠点となり得る文化財(市指定内田家住宅)を整備する。

### 【措置】

- ① **文化財保存修理事業**
  - 近世・近代の「和銅遺跡」の拠点となる市指定有形文化財(建造物)「内田家住宅」の保存修理計画を検討する
- ② **文化財公開環境整備事業**
  - 「和銅発見の伝承地」を中心に、古代の「和銅遺跡」の見学環境の整備を行う
  - 「市指定内田家住宅」の保存修理に伴い、駐車場や便益施設等の整備を検討する
  - 市ホームページ内「秩父市の文化財」のページにおいて、関連文化財群の概要や構成文化財の情報、アクセス等を紹介する